

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月30日

上場会社名 サトレスラントシステムズ株式会社

コード番号 8163 URL <http://www.sato-restaurant-systems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長

(氏名) 重里 欣孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員副社長

(氏名) 清久 裕一

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 大

TEL 072-227-5901

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	19,500	△5.3	107	△72.4	17	△94.5	△178	—
20年3月期第3四半期	20,588	△2.9	388	△39.6	314	△53.2	△40	—
1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益						
21年3月期第3四半期		円 銭		円 銭				
20年3月期第3四半期		△7.10		—				
		△1.62		—				

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第3四半期	22,939		9,856		43.0		392.18	
20年3月期	23,168		10,227		44.1		406.89	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 9,856百万円 20年3月期 10,227百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	0.00	5.00
21年3月期(予想)	—	2.50	—	0.00	2.50

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	25,600	△6.2	150	△76.2	30	△94.1	△500	—	△19.89	

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

#### (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 25,394,380株 20年3月期 25,394,380株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 261,911株 20年3月期 257,911株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 25,134,969株 20年3月期第3四半期 25,139,713株

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2.当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）におけるわが国経済は、米国発の金融危機が広がり、株式市況の暴落や急激な円高につながり、自動車・電機等の基幹産業をはじめ、あらゆる業種にわたって急速に業績が悪化し、生産削減や雇用削減が広がりました。その為、消費や設備投資に急ブレーキがかかり、景気の悪化状況が鮮明になってきました。

外食産業におきましては、先行きの不透明感に加え、実所得の減少により個人消費が低迷する中、食の安全に不安を与える事件が継続的に発生するなど、消費者の外食への支出の抑制の影響を受け、厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社は「最も顧客に信頼される和食レストランの実現」に向けて諸施策を積極的に推進してまいりました。

当第3四半期会計期間末の店舗数は、郊外和食店199店舗、すし半店13店舗、たわわ店3店舗の合計215店舗であります。

営業施策では、全店企画として、11月より「創業50年感謝祭」キャンペーン第2弾を実施し、関西地区でのテレビCM、旅行券のプレゼントやスタンプカード、当社の主力メニューである鍋料理をメインにした「鍋まつり」などを実施しました。

売上高に関しましては、景気の急激な悪化による個人消費の低下などにより、既存店の客数の減少に歯止めがかからず、既存店売上前年比は93.9%となりました。

特別損失に関しましては、2店舗の閉店と遊休資産の売却予定に伴う減損損失39百万円を含み、73百万円を計上しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高195億円、営業利益1億7百万円、経常利益17百万円、四半期純損失1億78百万円となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、229億39百万円（前事業年度末比2億28百万円の減少）となりました。

流動資産は30億45百万円（前事業年度末比2億83百万円の増加）となりました。増加の主なものは、現金及び預金の増加1億10百万円、原材料の増加1億59百万円などであります。

固定資産は198億93百万円（前事業年度末比5億11百万円の減少）となりました。減少の主なものは、有形固定資産の減少2億96百万円、投資有価証券の減少1億78百万円、差入保証金の減少1億5百万円などであります。

流動負債は、63億59百万円（前事業年度末比3億92百万円の増加）となりました。増減の主なものは、買掛金の増加2億18百万円、短期借入金の増加2億48百万円、賞与引当金の減少1億53百万円などであります。

固定負債は、67億23百万円（前事業年度末比2億50百万円の減少）となりました。これは主に長期借入金2億42百万円の減少によるものであります。

純資産は、98億56百万円（前事業年度末比3億71百万円の減少）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、期首残高に比べ1億10百万円増加し、19億20百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、5億33百万円となりました。その増減の主なものは、減価償却費7億6百万円や仕入債務の増加2億18百万円などによる増加と、税引前四半期純損失26百万円を計上したことやたな卸資産の増加2億5百万円などによる減少であります。

投資活動による資金の減少は、3億63百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得4億37百万円による支出であります。

財務活動による資金の減少は、59百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増1億60百万円、長期借入金の純減1億54百万円などであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年10月29日に公表いたしました平成21年3月期の業績予想を本日付にて修正しております。

詳細につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」（平成21年1月30日開示）をご参照ください。

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### ①会計処理基準に関する事項の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

###### ②棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この変更による損益に与える影響額はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,920,092	1,809,373
売掛金	166,132	139,758
商品	34,573	34,651
製品	111,148	72,221
原材料	455,097	295,479
貯蔵品	46,074	39,310
繰延税金資産	82,143	159,099
その他	230,725	213,009
<b>流動資産合計</b>	<b>3,045,987</b>	<b>2,762,905</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	3,393,137	3,630,666
土地	9,524,764	9,541,651
その他（純額）	850,383	892,210
<b>有形固定資産合計</b>	<b>13,768,285</b>	<b>14,064,527</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>413,363</b>	<b>390,645</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	350,468	529,375
長期貸付金	545,834	546,961
差入保証金	3,881,902	3,987,289
繰延税金資産	555,484	499,381
その他	378,118	387,123
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>5,711,808</b>	<b>5,950,130</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>19,893,457</b>	<b>20,405,303</b>
<b>資産合計</b>	<b>22,939,445</b>	<b>23,168,208</b>

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	763,435	544,602
短期借入金	3,845,530	3,597,328
未払金	1,111,949	1,030,504
未払法人税等	94,238	141,756
未払消費税等	66,524	79,305
賞与引当金	93,600	247,000
店舗閉鎖損失引当金	4,600	6,966
その他	379,483	319,397
流動負債合計	6,359,361	5,966,860
固定負債		
長期借入金	5,560,000	5,802,527
再評価に係る繰延税金負債	917,768	917,768
役員退職慰労引当金	78,811	78,811
その他	166,944	174,460
固定負債合計	6,723,524	6,973,567
負債合計	13,082,885	12,940,428
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,592,458	5,592,458
資本剰余金	3,224,180	3,224,180
利益剰余金	1,026,003	1,267,419
自己株式	△186,950	△184,378
株主資本合計	9,655,691	9,899,679
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	81,670	208,903
土地再評価差額金	119,198	119,198
評価・換算差額等合計	200,868	328,101
純資産合計	9,856,559	10,227,780
負債純資産合計	22,939,445	23,168,208

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	19,500,431
売上原価	5,598,655
売上総利益	13,901,775
販売費及び一般管理費	
販売費及び一般管理費合計	13,794,610
営業利益	107,165
営業外収益	
受取利息	10,880
受取配当金	8,158
受取家賃	113,774
雑収入	45,893
営業外収益合計	178,705
営業外費用	
支払利息	151,762
不動産賃貸費用	92,293
雑損失	24,428
営業外費用合計	268,484
経常利益	17,386
特別利益	
固定資産売却益	2,140
店舗閉鎖損失引当金戻入額	2,340
関係会社清算益	25,200
特別利益合計	29,681
特別損失	
固定資産除却損	28,858
減損損失	39,691
店舗閉鎖損失引当金繰入額	4,600
特別損失合計	73,149
税引前四半期純損失(△)	△26,081
法人税、住民税及び事業税	79,971
法人税等調整額	72,527
法人税等合計	152,499
四半期純損失(△)	△178,580

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純損失（△）	△26,081
減価償却費	706,355
減損損失	39,691
賞与引当金の増減額（△は減少）	△153,400
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△2,366
受取利息及び受取配当金	△19,038
支払利息	151,762
有形固定資産売却損益（△は益）	△2,140
有形固定資産除却損	28,575
関係会社清算損益（△は益）	△25,200
売上債権の増減額（△は増加）	△26,374
たな卸資産の増減額（△は増加）	△205,229
仕入債務の増減額（△は減少）	218,833
未払金の増減額（△は減少）	81,444
未払消費税等の増減額（△は減少）	△12,780
その他	19,239
小計	773,290
利息及び配当金の受取額	8,803
利息の支払額	△147,086
法人税等の支払額	△100,745
その他の支出	△743
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>533,519</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
関係会社の整理による収入	53,766
有形固定資産の取得による支出	△437,844
有形固定資産の売却による収入	2,140
無形固定資産の取得による支出	△43,726
差入保証金の差入による支出	△26,940
差入保証金の回収による収入	78,383
建設協力金の支払による支出	△40,000
建設協力金の回収による収入	106,266
その他	△55,891
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△363,844</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額（△は減少）	160,000
長期借入れによる収入	2,450,000
長期借入金の返済による支出	△2,604,325
自己株式の取得による支出	△2,572
配当金の支払額	△62,834
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△59,731</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	776
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	110,719
現金及び現金同等物の期首残高	1,809,373
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,920,092

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) (要約) 四半期損益計算書

区分	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)		
	金額(千円)	百分比 (%)	
I 売上高	20,588,893	100.0	
II 売上原価	5,927,735	28.8	
売上総利益	14,661,158	71.2	
III 販売費及び一般管理費	14,272,480	69.3	
営業利益	388,678	1.9	
IV 営業外収益			
受取利息	11,389		
受取配当金	6,070		
受取家賃	133,907		
雑収入	51,806	203,174	1.0
V 営業外費用			
支払利息	149,077		
不動産賃貸費用	90,677		
雑損失	37,190	276,945	1.4
経常利益		314,906	1.5
VI 特別利益			
店舗閉鎖損失引当金戻入額	2,780	2,780	0.0
VII 特別損失			
固定資産除却損	85,448		
関係会社株式評価損	58,282	143,730	0.7
税引前四半期純利益		173,957	0.8
法人税、住民税及び事業税	77,554		
法人税等調整額	137,091	214,645	1.0
四半期純損失(△)		△40,688	△0.2

## (2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	173,957
減価償却費	765,096
賞与引当金の増減額(△は減少)	△252,066
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△6,000
受取利息及び受取配当金	△17,460
支払利息	149,077
有形固定資産除却損	88,611
関係会社株式評価損	58,282
売上債権の増減額(△は増加)	△32,882
たな卸資産の増減額(△は増加)	△213,605
仕入債務の増減額(△は減少)	304,263
未払消費税等の増減額(△は増加)	56,487
その他	75,365
小計	1,149,125
利息及び配当金の受取額	6,631
利息の支払額	△135,087
法人税等の支払額	△99,348
その他の支出	△1,208
営業活動によるキャッシュ・フロー	920,112
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	50,000
有形固定資産の取得による支出	△870,157
無形固定資産の取得による支出	△80,980
差入保証金の差入による支出	△27,394
差入保証金の回収による収入	248,924
建設協力金の回収による収入	50,851
その他	△62,018
投資活動によるキャッシュ・フロー	△690,775
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	240,000
長期借入れによる収入	2,720,000
長期借入金の返済による支出	△2,914,215
自己株式の取得による支出	△4,553
配当金の支払額	△377,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△335,899
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△770
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△107,333
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,326,089
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,218,756